## 2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 50 casaそら 記入日 2023年(令和5年)4月14日

1. 2030年までに 達成したいこと	互いに支えあいながら生きられる「おとなりさんコミュニ ティ」を再構築するための起点となることにより、生きづらさ を抱えている人々が笑顔で生きられる社会づくりに寄与する。	3. 関連する		1 \$25 <b>\(\hat{N}\rightarrow\hat{\psi}\rightarrow\ha</b>	2 ### /	3 preduce	4 REAL-MRE ACCU	5 \$259-900 B	6 secont	7 1/10/1-04/00	8 55545	9 *#difference
2. 取組の概要	・食を通じて地域交流の場を提供し、あたたかな地域づくりを 目指す。 ・音楽療法による生活の質の向上を目指す。		ゴール	10 AOB DETT	11 the fire as	12 35葉	13 34254:	14 #08646 ###	15 #02:04 #200	16 #Remat	17 SHIPTHOUSE	
	・海岸の環境を保全し、よりよい未来へ繋げる。			<b>V</b>	<b>V</b>	7	<b>√</b>	<b>4</b>	1	<b>/</b>		
4. 主な取組の達成状況												

4.	4. 主な取組の達成状況							
	子どもからお年寄りや外国人まで誰でも参加でき	①目	標値	②当初値	3実	達成度		
(1)	る場として「casaそらのみんな食堂」を開催する (2022年度/358人)	参加者数(延べ)	3,000 人	281 人	639 人		13%	
		2030	)年度	2021年度	2022年度	2023年度		
<u>  + </u>	音楽を楽しみながら参加者同士が自然とコミュニ		標値	②当初值	3実	③実績値		
	ケーションをする、地域交流の場として「みんな」の音楽療法」を開催する	参加者数(延べ)	500 人	105 人	177 人		18%	
	(2022年)文/12/()	2030	年度	2021年度	2022年度	2023年度		
		<b>①目</b>	標値	②当初値	3実	③実績値		
(3) ‡	「ゴミコロリ」(ビーチクリーンの開催) 拾ったゴミはワークショップで活用する (2022年度/137人)	参加者数(延べ)	1,000 人	154 人	291 人		16%	
		2030	年度	2021年度	2022年度	2023年度		

5. 取組結果	・「みんな食堂」新規の方も多く受け入れ、地域交流の場を作れた。 ・「みんなの音楽療法」心身共にリフレッシュし生活の向上ができた。見学の 方も多く来られ、参加者同士も情報交換をしていた。 ・「ゴミコロリ」海だけでなく里山での開催もできた。範囲を広げて活動する 事により、より環境の保全に貢献できた。
6. 今後の課題と取組	「みんな食堂」は更に新規の参加者も受け入れつつ、既存の参加者同士もより親しくなり、地域全体が大きな家族のようになれるよう、定期的に活動を続けていく。「みんなの音楽療法」は、とても良い形で開催できているので今後も継続していきたい。「ゴミコロリ」は更に活動範囲を広げていけたらと思う。またSNSも活用し多くの方に知ってもらうよう努める。

団体名:casaそら 担当課:事務局 問合せ先

電 話:070-8140-6791

メール: casasora2018@gmail.com

担当者:山口 加奈枝

連携希望

なし